

体力作りに役立てて！

2014ワールドカップブラジル大会公式球レプリカボール贈呈

6月7日、雲石小学校に熊石郵便局棚田昌幸局長が訪れ、ブラジルで開催されたサッカーワールドカップ（W杯）の公式試合球のレプリカボールを児童に贈呈しました。ゆうちょ銀行では、W杯のスポンサー契約を結んでいることから、W杯の応援や地域貢献活動の一環として、全国の小学校へ公式試合球のレプリカボールを贈呈しています。棚田局長が、「一生懸命ボールを追いかけて、体力づくりに役立てて」と、手渡すと、全校児童を代表し、児童会会長坪田真斗（まなと）くんが受け取り、「このボールを使って、すぐにサッカーしたい」と笑顔で話していました。



飛べ飛べ高く！遠くまで！

移動理科教室 サイエンスカー巡回授業

泊川小学校で6月25日、北海道立教育研究所附属理科教育センター（江別市）のサイエンスカーが訪問し、「移動理科教室」が開催されました。泊川小学校と関内小学校の児童13名が、顕微鏡を使った標本観察や、液体窒素を使った実験などを通して、科学の世界を楽しみました。

午前中は万華鏡や紙とんぼ作り、人工イクラ作成などの工作や実験を行い、午後からは全員でグラウンドに出て、水ロケットを飛ばす実験を行いました。児童たちは飛距離を伸ばそうと水の量や発射角度を変え、記録が更新されるたびに大きな歓声と拍手が上がりました。



お年寄りも登りやすい避難路に！

第3泊川町内会 津波避難路整備

7月6日、第3泊川町内会（熊谷武一会長）が大震災による津波に備え、泊川地区の裏山高台（標高20メートル）までの津波避難道の整備に着手しました。同地域の避難路は裏山斜面にあり、急なため「お年寄りには登るのが大変だ」と住民の中から意見が上がっていましたが、今回、地域住民7人が、地元建設業者から提供された単管パイプで避難道に手すりを取り付け、裏山高台までの約50mに及び避難路の整備をしました。



創立90周年を記念し、ベンチ寄贈！

江差信用金庫創立90周年記念 木製ベンチ贈呈式

7月9日、熊石総合支所で、江差信用金庫（藤谷直久理事長）より、江差産道南杉の木製ベンチが町に寄贈されました。今年2月に創立90周年を迎えた同金庫では、地域貢献事業の一環として、昨年からの営業所所在地の公共施設等に木製ベンチを寄贈しています。今回、江差信用金庫の加賀修熊石支店長が熊石総合支所を訪れ、植杉副町長に贈呈しました。

